

輝け！いのち 音読集会

加納 厚子

1 命に対する感性を高める音読活動

命に対する感性を高め、命を大切にする心をはぐくむために、生命尊重（きらきら）、自己肯定感（いきいき）、思いやり（ほかほか）にかかわる詩の音読を意図的に行った。また、その詩を子供たちがよく目にするように廊下や階段に掲示し、意識の高揚に努めた。

2 音読集会の様子と音読した詩や文章の掲示物

9月の発表

1年	「とべ てんとうむし」	てんとうむしまる
2年	「あるけ あるけ」	鶴見 正夫
3年	「かたつむり」	リュウイ
4年	「ぼく」	木村 信子
5年	「シッポのちぎれたメダカ」	やなせ たかし
6年	「生きる」	谷川 俊太郎



10月の発表

1年	「せいび」	ぶしか えつこ	2年	「秋風 こっそり」	宮沢 章二
3年	「山みちのうた」	宮沢 章二	4年	「いのち」	けやきだいさく
5年	「大地」	国語の教科書より	6年	「雨ニモマケズ」	宮沢 賢治
	「生きているって」	歯 祥明			

生きているってすごい
と思いました。私も命を
大切にしたいです。

11月の発表

2年	「大きくなあれ、どんぐりくん」	高倉 滋子
4年	「手をください」	工藤 直子
6年	「われは草なり」	高見 順

1年	「しゃぼんだま」	
3年	「ばんがれまーち」	坂田 寛夫
	「はじめて小鳥が飛んだとき」	原田 直友
5年	「不思議」	折原 みと
	「大きな愛につつまれて」	

がんばって
生きているな
と思いました。

12月の発表

1年	「風」	江口 あけみ
3年	「いっころ」	谷川 俊太郎
5年	「約束」	湊 佑輔（児童）
	「はずむ いま」	水内 喜久雄

風も生きて
いるみたい。

2年	「知っている？」	道徳の本より
4年	「わたしにはある」	心のノートより
6年	「永訣の朝」	宮沢 賢治

3 感性をさらに高めることを願って

命に関する詩を継続して音読し、集会で詩の内容についてコメントを添えながら発表したりそれを聞いて感想を述べたりした。そうすることにより、命の大切さや生きることのすばらしさに対する感性が高まり、命について考える姿が見られるようになってきた。今後、子供たち自らが発表する詩を選定したり集会の内容を工夫したりするよう支援していきたい。



